



3つのはなし



須津小学校1年 ますだてつろう



ぼくのおかあさんは、くるまをうんでんしています。ときどき、「きょうはこどもがとびだしてきて、こわかったよ」と、はなしています。

だからぼくが、がっこうにいくときや、おつかいにいくとき、いつも、「くるまにきをつけてね」「とびだすんじゃないよ」「右がわをあるくんだよ」と、なんかいもなんかいもうるさくいます。

おにいちゃんがようちえんのとき、みちにとびだしてこうつうじこをおこし、かおじゅうきずだらけになって、おかあさんもおとうさんもしん

ぱいしたことを、おかあさんがはなしてくれました。

ぼくは、おにいちゃんのようにみちにとびださないように、おうだんほどうをわたるようになっています。おみせやさんのすぐまえに、おうだんほどうがないとき、おうだんほどうのところまでいってわたっています。

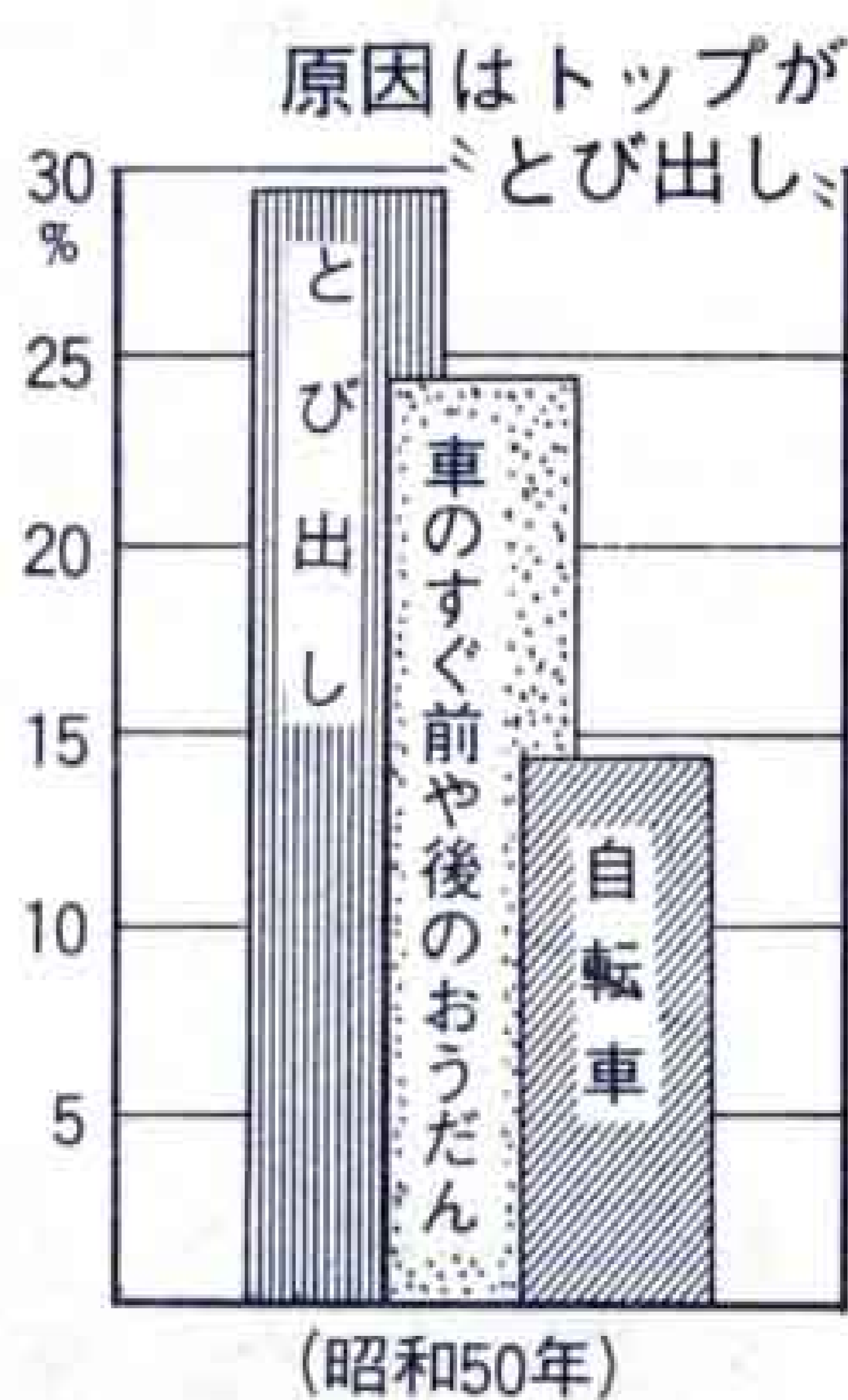
がっこうでおしえてもらったように、手をあげて、右みて左みてもういちど右をみてわたっています。

ぼくが手をあげていても、とまってくれないくるまがあります。おとなのひとは、めんどくさいといってやたらにわたっていきます。ぼくのおかあさんも、ときどきぼくにちゅういされて、「ごめんねー」といっ

てわたります。

テレビでこうつうじこのはなしが

でると、おとうさんもおかあさんも、「こわいねー」「てっちゃん、きをつけてね。おにいちゃんだけでもうたください」とぼくにいいます。



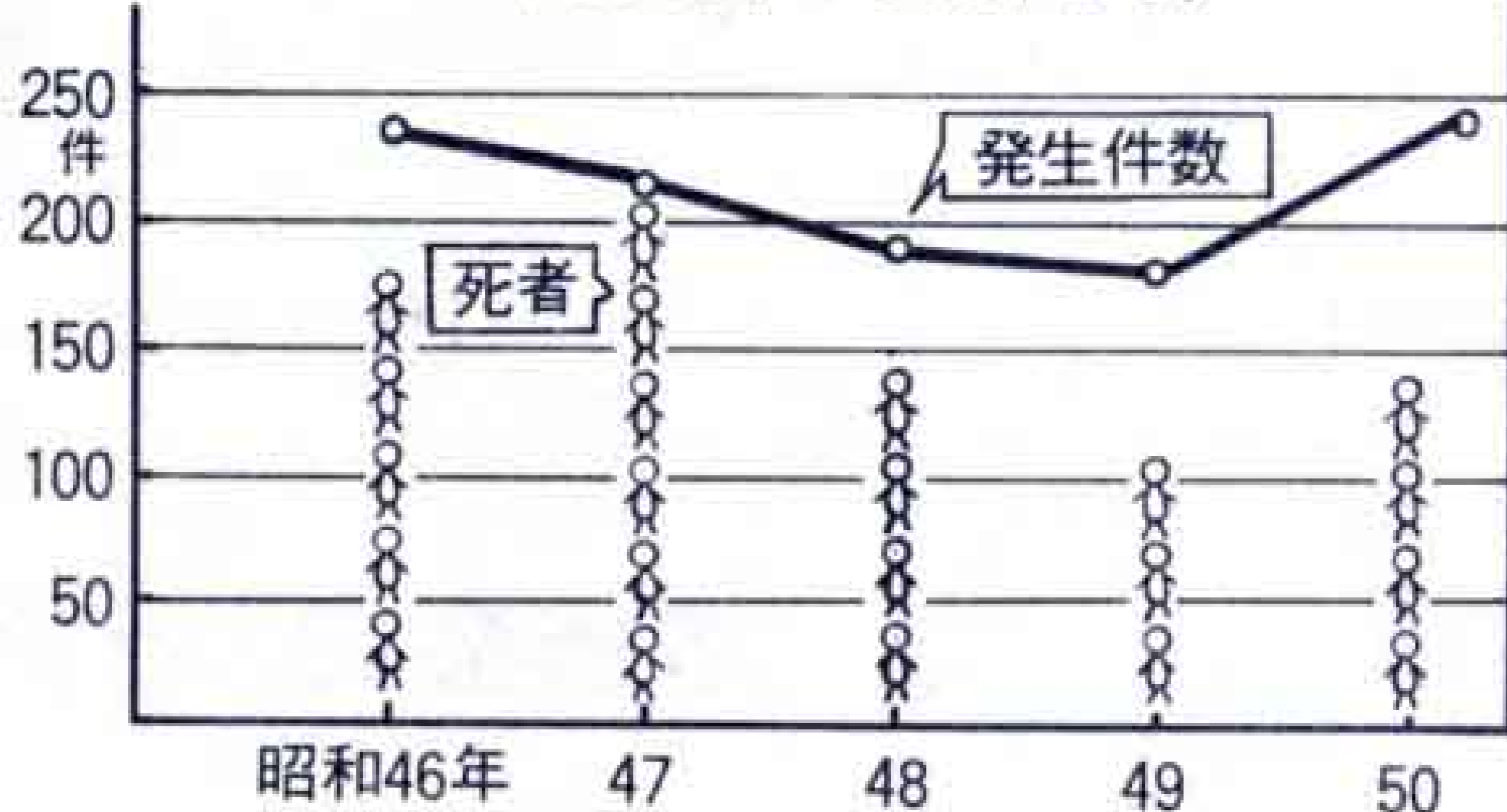
ぼくのうちのげんかんのどあに、がっこうからもらってきた、こうつうあんぜん3つのちかいのかみがはってあります。あさがっこうへいくとき、ときどきよみます。

- どうろで あそびません
- どうろに とびだしません
- くるまのすぐまえやうしろはおうだんしません

この3つのことを、ぼくは、しっかりまもります。

こどもの交通事故

(昭和46年から50年まで)



きみの血液はど型

もしも、みんなが交通事故にあったり、大きな手術をしたりするとき、たくさんの新しい血が必要ですね。きみはなに型？血液型はふだんからおぼえておきましょうね。輸血につかう血は、愛の血液助けあい運動として、元気なおとなの人達が協力してくれます。いつも、この運動に協力してくれる人に今年も感謝状がおくられました。



体温のはかり方

子どもの体温は、おとなよりもすこし高いのがふつうです。小学生くらいでは、午後になると37度をこえる子どももあります。体温は、それぞれ子どもによつてちがいます。けれども、37度5分をこえる熱がたら、なにか病気が原因かもしれませ

-10-

自分の、ふだんの体温を知っていますか。健康なときの体温を調べておくと、病気の発見に役立ちます。体温のはかり方には、わきの下、口の中、肛門と、3つの方法がありますが、たいいていわきの下ではかります。正しいはかり方は、まず、体温計が35度以下に下がっているのをたしかめます。そして、体温計をわきの下のまん中よりすこし前かけんに入れ、うでで、わきの下をびつたりとします。